

私のスペイン語 + R

※2020年度インタビュー

経済学部 Kさん



- # 何かをやり切りたい # スペイン語圏の人たちと一緒に働きたい
- # パイオニアになりたい # 留学中のトラブル
- # 教室外に出て初めて自分のレベルの低さを感じる # 短期留学 # 長期留学
- # BBP # コミュニケーションルーム # 先輩や先生が存在 # 学部を超えた仲間
- # 自ら積極的に交流 # 苦手な分野を中心にまんべんなく学習 # 語彙力強化



大学で何かやり切ったと言えるものを作りたいという思いが入学当初からありました。スペイン語は入学時に初修語としてなんとなく選択しました。1回生のうちは授業内での学習を一生懸命に行い、頑張ればテストの点数に現れ、クラス内では良い成績をおさめていました。そんな中、先生に勧められ2月にアルカラ大学に短期留学をしました。自信があったのにもかかわらず、実際にはなかなか上手にコミュニケーションをとることができず悔しい思いをしました。また同じ学年の文学部の学生さんがバラバラと流暢に話される様子を見て、とても刺激を受けました。この1か月の留学があったからこそ今後の大学生活ではスペイン語に力を入れて自分のものにしたいという思いが強くなったと感じています。

留学後は、読み書きだけでは使えるスペイン語は身につかないということに気づき、話す機会を求めてコミュニケーションルーム*に参加するようになりました。先生からの強い勧めもあったことから交換留学に挑戦することを決意し、授業にもさらに本格的に力を入れて取り組みました。その結果、全体的に成績が向上し西園寺記念奨学金**を授与することとなりました。

先生から留学前に、過去に留学した先輩を紹介していただき、志望書を見てもらいました。いざ留学に行くと、ロストバゲージなどトラブルもあり精神的に落ち込んでしまう時期がありました。また授業でも、アメリカ人の学生とのペアワークで相手にされず自分のコミュニケーション力の足りなさを感じました。一方でホームステイ先には恵まれました。アルゼンチン人の一家でなまりが多少あったものの、とても優しくしていただき、娘さんの結婚式にも参加させていただくなど貴重な経験をしました。また自ら積極的に交流することを意識しているうちに友達もでき一緒にサッカーを見に行ったりする中で、コミュニケーションが取れる楽しみを知りました。スペイン語圏の人と話するうちに価値観が180度変化したと感じています。以前は、自分にあまり自信がなかったのですが、周りと比べることなく常に前向きに楽しんでいる彼らと関わるうちに、なんとかなるんじゃないかという考え方もできるようになり、あまり落ち込むことがなくなりました。

将来はスペイン語が使える、商社やメーカーを希望しており、後々はスペイン語圏の人たちと一緒に働きたいと思っています。そのため常に満足することなくスペイン語の勉強を続けています。現在は、外国語学科で4年間学んだ学生の到達レベルとされている DELE スペイン語検定 B2 の取得を目標としています。総合大学でも頑張ればここまで使えるスペイン語が身につくということを証明したい、パイオニアになりたいと思っています。最近の勉強方法としては、言語の4技能（聞く・話す・読む・書く）のうち、苦手な部分を重視しつつ、他の技能も疎かにしないことを意識しています。加えて語彙力強化は欠かさずに行っています。その日に学んだ単語やイディオムは忘れないよう反復し学習しています。また、コミュニケーションルームなどの限られた会話の練習の中で意識的に覚えた単語は使って記憶に定着させるようにしています。

立命館大学の先生方は常に手厚くサポートしてくれ、新たな機会を与えてくれます。目標を定め、何を目指すかにもよりますが、しっかり話す環境を自ら作ることが大切です！

語句紹介

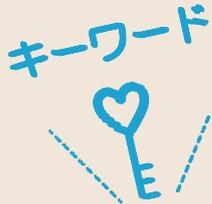
* コミュニケーションルーム：本学の学生であれば、誰でも気軽に参加できる授業外の外国語教室（英語・初修語）
<http://www.ritsumeai.ac.jp/bbp/reservation/communication/>

** 西園寺記念奨学金：学士の学位を得るための教育課程において優秀な成績をおさめ、本大学における学びと成長の模範となる学生を励ますことを目的とした奨学金。（成績優秀者枠）

私のスペイン語 + R

※2020年度インタビュー

文学部 Tさん



長期留学に挑戦したい

レベルの高い検定試験の合格を目指す

スペインの地域による言語の違い

短期留学

長期留学

BBP

副専攻

先輩や友人の存在

学部を超えた仲間

楽しいと思える学習方法

学内での学びを大切に



大学入学前よりスペイン語に慣れ親しむ環境にあり、スペイン語話者との交流もありました。

大学入学後、初修語を履修することによって、本格的にスペイン語の履修を開始しました。またスペイン語の音楽やドラマなど文化にもはまり、2回生より副専攻*の履修を決意しました。スペイン語技能検定取得に向けて学習を進めましたが、難易度も高くはかどらないこともありましたが、友人とともに勉強することによって理解を深めました。また、BBP**を活用し、留学生との交流・スペイン語のドラマ・音楽を見聞きするなど、楽しいと思える学習方法で語学学習のモチベーションを維持しました。副専攻での履修も語学力向上につながりました。文学部の専門科目「人文総合外書講読」もスペイン語学習に大変役立ちました。実際のDELEスペイン語検定を解いて、留学された先輩と一緒に勉強できたのも励みになりました。春休みに友人の体験談や家族の勧めもあり、異文化理解セミナー（現在：現地で学ぶ初修語セミナー***）に参加し、そこで今までの学びとは違う、活きたスペイン語や文化に触れ、より深く学習を進めることを決意しました。また、初修語クラス担当教員の勧めもあり長期留学することを視野に入れ、勉強を進めました。

3回生9月からバルセロナ自治大学に留学しました。そこで話されているカタルーニャ語に最初は苦労しましたが、英語やカスティーリャ語を駆使しながら、友人達の助けもあって後期にはレギュラーの講義を受講できるまでとなりました。留学中はボランティアに参加したり、交流イベントに参加したりと積極的に活動をおこない、語学だけでなく文化や歴史、社会的な問題についても学ぶことができました。しかし、2020年3月に新型コロナウイルス感染症の影響で急遽帰国することとなりました。コロナ禍の混乱の中、帰国の際にトラブルに見舞われましたが、半年のあいだに身につけた語学力で解決できました。

帰国後は、留学で培った語学力を発揮し卒業論文にスペイン語や英語の文献を読み執筆をすすめました。また、語学力だけではなく、留学で養われたコミュニケーション能力や向上力を遺憾なく発揮し、就職希望先で内定を得ることができました。

立命館大学では、講義でしっかり学び、BBPで交流を行うことで語学力は身につきます。副専攻の履修は学部を超えた仲間ができ刺激にもなります。語学を学ぶチャンスがあれば積極的にトライしてほしいです。留学は特におすすめ！語学力はもちろんその他の力量も身につくので、将来の進路にも役立てることができそうですよ。

語句紹介

*副専攻：必修外国語の履修などでこれまでに培った外国語能力をベースに、より一層高い運用能力とその外国語学習を通じて幅広い教養を身につけることを目的としたプログラム。（対象の学部：法学部・産業社会学部・文学部・国際関係学部・映像学部・経済学部・食マネジメント学部）<http://www.ritsumei.ac.jp/gengo/seika-manabi/minor.html/>

**BBP：国際交流や言語学習を中心としたグローバルコモンズ <http://www.ritsumei.ac.jp/bbp/>

***現地で学ぶ初修語セミナー：海外体験を通じてグローバルな社会を体験することで理解し、外国語のスキルアップを目指すプログラム。